

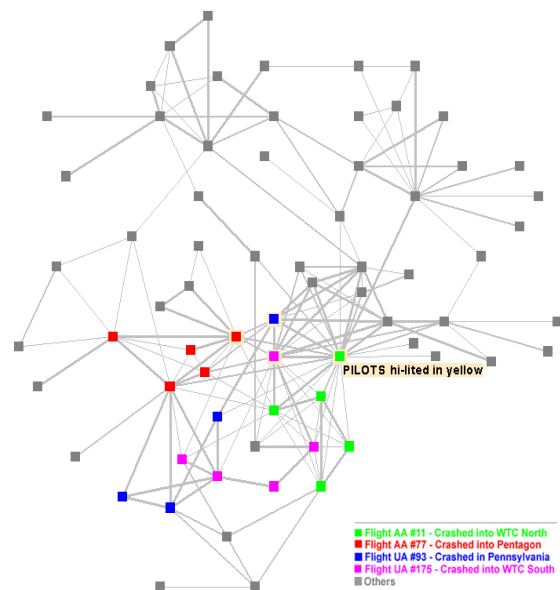
## 《Economic Diversity》 グローサリー

Actor: 【アクター】個人，グループ，組織、国家などの意思決定者。node（ノード）とも言う。

Tie: 【紐帯，ちゅうたい】アクター間のつながりで、強度や方向性も含む概念。個人レベルでは、上司 部下，教員 学生のような役割に基づく関係，家族・親戚関係，愛情や知り合いの関係，同じサークルや団体に所属することによって生じる関係などがある。組織レベルでは株式の所有や持合い，組立会社と部品会社間の部品供給の関係，共同運営や共同開発などを目的とした協力的提携関係，取締役員の派遣・受け入れ関係などがある。紐帯の強さは，アクター間のコンタクトの頻度などによって測定できる。たとえば個人間の強い紐帯とは，頻繁にコンタクトが存在する友達関係などを意味し，弱い紐帯とは，1年に1回会うか会わないかぐらいの知り合い関係を意味する。

Network: 【ネットワーク】アクターやそれらの間の紐帯の集まり。

アクターを点で表し，つながりを線で表し，関係性を図式化したものをグラフ図という。右図は，9 - 11テロ事件の際に関係したテロリストのグラフ図で，着色してあるアクターは墜落した旅客機に乗り込んでいたテロリストを表している([www.orgnet.com](http://www.orgnet.com))。グラフ図を作成することにより視覚的にネットワークの構造を理解することが可能となるが，ノードの数が増えるにつれ，より複雑化が増すため，理解が難しくなることが多い。



Structural Holes:【構造的空隙，くうげき】

構造的空隙とは，自らとつながりのある

2者間につながりがない状態を意味する。自分の友達同士が知り合いでなければ，それぞれから全く異なる種類の情報が入手できるだけでなく，ブローカー的な立場を利用して影響力や交渉力を高めることができると考えられている。

Heuristic Search: 【ヒューリスティック探索】人間には，情報処理能力や知識，時間の制約があり，そのため認知的資源，すなわち考える手間を節約しようとする傾向がある。ヒューリスティック探索は，最適な答えを見つけるのではなく，満足のいく程度の近似的な答えを少ない努力で得るための解決法を意味する。例えば，企業は取引先との契約

の更新に際し、まず今まで取引のあった他社との契約を考え、それがうまくいかなかった場合に新しい他社との取引開始を検討すると言われている。これは、あらゆる企業との取引開始の可能性の綿密な調査、検討に必要な認知的資源が膨大になるため、まず、従来からの取引相手との更なる関係性がもっとも最適でベストではないかもしれないが、満足に耐えられるものであればよい、と考えるからである。

Preferential attachment:【優先的選択】ノード同士はランダムに紐帯を張り合うのではなく、より影響力の強いノード、既に多くの紐帯を持つノードとの間に新しい紐帯が発生しやすいこと。現在多くの友達を持っている人は、今後さらに多くの友達を持つ可能性を示唆しており、ネットワークの発展における the-rich-get-richer の傾向を意味する。

Triadic closure:【トライアディック・クロージャー】私と友人 A、そして友人 A の友達である友人 B の 3 者がいるとすると、私と友人 B の間に新しい友人関係が発生しやすい傾向があること。この時、友人 A との関係を third-party ties(第 3 者的紐帯)という。

Homophily:【同類原理】似た者同士は紐帯を築きやすい傾向があること。個人レベルでは、同性、同郷、同窓、同年代の他者とはよりコンタクトを開始しやすく、紐帯が構築される可能性が高い。

Path:【経路】あるノードから別なノードへたどり着くことのできる紐帯の組み合わせ(一意とは限らない)。

Distance:【距離】あるノードから別なノードへの距離とは、その間の最短経路に属する紐帯の数。

Small World:【スモールワールド】スモールワールドとはネットワークの性質で、

- (1) 全紐帯の数が全ノードの数倍程度(全ノード数を  $N$  とすると  $N \log N$  程度)しかなく、
- (2) そのネットワーク内のノード間の平均距離(平均最短経路長)がネットワーク内の全ノード数に比べて著しく小さいもの。

したがって、高度にクラスター化しているネットワークを意味する。クラスター化を表す指標としては、クラスタリング係数があり、あるネットワークに実在する紐帯の数を、そのネットワークに存在できる紐帯の数( $(n(n-1)/2)$ )で除したものである。関連するものとしてスケール・フリー・ネットワークと呼ばれるものがあり、これは、少数の高額所得者が社会全体の所得の大部分を占めるように、ネットワーク上の限られたノードに対して大半の紐帯が張られている、ハブ構造を持っていることを意味する。この場合、ノードが持つ紐帯の数の分布がベキ乗分布を示し、このような性質を、特徴的スケールがない、という。